

令和3年度第3回 奈良市環境基本計画推進会議の意見の概要	
開催日時	令和4年2月18日（金）午前10時00分から12時00分まで
開催場所	奈良市役所 中央棟3階 301会議室
参加者	出席者5人（会場4人・オンライン1人）、事務局 3人
開催形態	公開（傍聴人1人）
担当課	環境部 環境政策課
案件	1. パブリックコメントの結果について 2. 「(仮称) 第3次奈良市環境基本計画（修正案）」について
資料	【資料1】意見募集の概要 【資料2】「(仮称) 第3次奈良市環境基本計画（修正案）」 【資料3】「(仮称) 第3次奈良市環境基本計画～概要版～（案）」
<b>意見等の内容</b>	
<p>《意見を求めた内容及びそれらに対する意見等》</p> <p><b>(1) パブリックコメントの結果について</b></p> <p>パブリックコメントについて、令和3年12月28日から令和4年1月27日までの期間、「(仮称) 第3次奈良市環境基本計画（案）」を公表し、意見を募集した。その結果、個人4通、合計13件の意見が提出された。意見の概要と市の考え方については、【資料1】に記載している。パブリックコメントでの意見を反映し変更した主な点は、目次にページを追記した。また、環境基本計画の対象範囲外のご意見があったことから、本計画の対象範囲について第1章に追記した。</p> <p><b>○質疑・意見の要旨</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整理番号9について、環境意識を高めるため市職員参加の講演会やワークショップの開催などをご提案されているが、市職員も含めやっていることをはっきり示してもっとアピールしても良いのではないかと。</li> <li>→市職員を対象とした講演会などは実施していないが、今年度実施した環境基本計画改訂に伴うワークショップには市職員も参加された。</li> <li>・整理番号3について、太陽光パネルの設置に対して良くないイメージを持たれている市民</li> </ul>	

の方がいらっしゃるということが分かった。設置場所には注意しなければいけないと思う。

→奈良県が太陽光パネル設置に対する規制のガイドラインを作るとは聞いている。今後は、温対法改正による促進地域の設定なども必要になってくることから、国や県の動向を踏まえながら注視していきたい。

・意見の件数が少ないことについて、加古川市では市民参加型の政策決定ツール「デシディム」を導入し、市民参加型のパブコメを実践しており、10代や20代の意見も数多くある。また、枚方市や寝屋川市はアンケートをとるなどしている。今後は、もっと意見の件数が増え、若い世代からも意見があるよう、意見聴取の方法を工夫する必要がある。

## (2) 「(仮称) 第3次奈良市環境基本計画(修正案)」について

パブリックコメント以降の修正点について説明を行った。

表紙及び目次を追加した。第1章に計画の対象範囲を追記した。第2章世界の動向において前文を追記した。

35～36 ページ 5. 奈良市の環境に対する満足度と重要度について、審議会において「市民アンケート調査結果から何が分かるのかのコメントが不足している」とのご意見があったことから、今回調査(R3)と前回調査(H28)の結果について比較しやすくするため、1つの図にプロットし、それぞれの項目がどのように推移したかについて分析を行った。

第3章 47 ページに奈良市環境ビジョンイメージ図を追加した。審議会において「全体の雰囲気として、市民が生活に夢や希望を持てるような、ポジティブな魅力的なまちづくりを提案してもらいたい」とのご意見があったことから、夢や希望、楽しさ、ワクワクするようなことをアピールできるような奈良市環境ビジョンのイメージ図になるよう作成した。右側には農業や林業に携わる人たちや自転車で観光する外国の方たち、左側にはEV車や太陽光パネルなど、真ん中にはリサイクルショップや子ども食堂、古民家オフィスやワークショップなど、さまざまな活動している人たちをイラストで表現している。また、動き出す人を応援する計画であることから、応援する人たちを一番下に表現している。さらに、イラストの中に5つの基本方針を書くことで、ビジョンのイメージがより明確になるよう工夫している。

第4章 2. 分野別施策の展開のコラムに写真やイラストを追加した。

第5章 4. 計画の進行管理にPDCAの図を追記した。

資料編に自然環境調査、市民等の意識調査、指標一覧、策定経過、委員等名簿、用語集を追加した。

## ○質疑・意見の要旨

- ・ 87 ページのアンケート調査結果において、学生の有効回収率がないのはなぜか。  
→市民及び事業者については紙のアンケート用紙を送付したが、学生については大学を通じて WEB アンケートへの協力を依頼したため、母数がなく有効回収率が出せない。
- ・ 資料編にある指標一覧を、本編第 4 章の 1. 施策体系と 2. 分野別施策の展開の間に入れてはどうか。  
→施策体系の中に、基本方針と基本施策、それに対応する指標を記載している。指標一覧は、目標値の算出根拠や担当課などの詳細を記載しているものになるため、資料編の方に掲載している。
- ・ 図表のタイトルについて、一般的に図は下に、表は上にした方が良い。また、各章ごとに図表番号を入れた方が良い。  
⇒ご指摘のとおり修正する。
- ・ 14 ページ地域循環共生圏の概念図にある「自然エネルギー」と「再生エネルギー」は同じではないのか。  
・ 例えばバイオマスは自然エネルギーではなく再生可能エネルギーである。再生可能エネルギーの一部が自然エネルギーである。  
⇒用語集に自然エネルギーを追加する。
- ・ PDCA の図について、市民・事業者・地域が環境基本計画に何も関わっていないように見える。  
⇒Do を市民・事業者・地域と奈良市に重なるよう配置し、市民・事業者・地域も関わっているようなイメージになるよう修正する。
- ・ 自然環境調査のまとめに書かれているラインセンサス法など難しい用語についても、用語集に掲載してもらいたい。  
⇒生物相やラインセンサス法、フィールドサイン法、シャーマントラップ法、みつけどり法、スウィーピング法、ビーディング法、外来種、レッドデータブックなどを用語集に追加する。
- ・ 85 ページ昆虫類の比較について、大型で確認しやすいためトンボを用いて比較したと記載

があるが、トンボを用いた理由はトンボの幼生（ヤゴ）が水生生物であるため水環境について推し測るためにトンボにしたのではないのか。一般的には何を調べるかで指標昆虫を変える。ここでは、トンボの生息域が湿地だから指標昆虫としたのではないか。

⇒トンボを指標昆虫にした理由の記述について確認し、修正する。

・バックキャストイングといいつつ、これらの施策を実行していったら本当に温室効果ガスが減るのか疑問である。

→それに関してはジレンマもある。環境基本計画は環境全般を対象としており、それぞれの分野については個別計画がある。脱炭素についての個別計画はアクションプランに当たるものとして来年度以降に作っていきたいと考えている。バックキャストイングで考える計画である一方で、動き出す人を応援する計画でもあるため、明確な目標を定めてそれに向かって動いてもらうのは違和感があることから敢えてゴールを決めていない。市民一人ひとりにいろんな想いがあり、いろんな選択肢があり、動き出すのを応援していければと考えている。

・9 ページ「2030年の目標に向けて世界で脱炭素に向けた取組が期待されています。」とあるが、傍観者的な表現である。やらなければいけないことであり、すでに舵を切っている。

⇒世界で脱炭素に向けた取組が進んでいます。などの表現に修正する。

・57 ページ 市域の温室効果ガス排出量の目標値について、基準年度比 46%削減値となっているが、これで良いのか、それ以上に 50%の高みを目標値とした方が良いのではないか。

→国の方針に合わせて基準年度比 46%削減値を目標値としている。58 ページの施策においては、「さらに 50%の高みを 2030 年度実績として目指します。」との記載をしている。

・52 ページ 基本方針③の指標について、基本施策 3. 歴史・文化資産の保全と活用に対応する指標がない。歴史・文化については古都ならと一体となったものであり、意識・関心を持たれている分野でもある。どういう指標を入れるかで奈良市のアピール度が問われる。歴史・文化について環境面からアピールする何かがあって欲しい。

→現計画においては、歴史・文化についての指標を設定していたが、推進会議においてもそれらの指標が適切かどうかという議論がなされてきた。今回の改訂に当たり、担当課とも相談したが、歴史・文化の環境について推し測る指標を設定することができなかった。

- ・第4章2.分野別施策の展開にある「考えてみよう」という問いかけは良いと思う。
- ・計画と概要版の間くらいのもので、学校に配る副読本を作ったら良いと思う。
- ・コラムに写真やイラストを追加したとのことだが、施策のところに写真がないのはなぜか。  
→現計画においては施策に写真を掲載していたが、今回は施策に写真を掲載しないことでSDGsのアイコンを目立たせ、施策をすっきりと読みやすくするとともに、コラムのところに写真やイラストを配置することで、親しみやすく、考えてもらうきっかけを与えることができるのではないかと考えている。
- ・コラム「フードバンク」の文章について、フードバンク奈良では、こども食堂や障がい者福祉施設などへの提供も行っている。また、コラム「市民共同発電所」の写真に何の写真か分かるようにタイトルを付けた方が良い。  
⇒文章の修正及び写真のタイトルについてメールでご指摘をいただければ修正を行う。
- ・15～16ページにおいて、国のエネルギー基本計画や地域脱炭素ロードマップの紹介があるが、奈良市はいつやるの？どうするの？という疑問が湧くと思う。奈良市の状況を書いてはどうか。  
→今後、奈良市としても進めていかなければいけないところだが、第2章においては世界、日本、奈良県、奈良市の現状を書いているため、ここでは日本の環境政策についての記述とさせていただきたい。
- ・SDGs ウェディングケーキモデルは環境を基盤に社会や経済が成り立っていることが分かりやすい図である。概要版にもあると良いのではないか。  
→検討する。

### (3) その他

皆様からいただいたご意見を反映し、環境審議会を3月7日に開催する予定となっている。審議会での答申を経て、今年度中に計画を策定する。

来年度の環境基本計画推進会議については、現計画の最終年度である令和3年度実績について評価をいただくとともに、第3次計画の評価方法についてもご意見をいただきたく、引き続き、お力添えを賜りたい。

以上

